●用具の名称

ストーンは、氷の上を滑らせるやかんのような形をした石です。重さ約20Kg、直径約30㎝で、花崗岩系の岩石でできています。上部には、投げるときに持つプラスティック製のハンドルがあります。試合では、赤と黄色のように2色のハンドルのストーンを使い、どちらのチームのストーンかが見分けられるよういなっています。

ブラシ（ブルームともいいます）は氷の上をゴシゴシとこするデッキブラシのような形状になっています。氷をこすることで、ストーンの方向や速度を調節します。この氷をこすることを「スウィーピング」といいます。

そのほかの用具としては、カーリング用のシューズがあります。ストーンを投げるときは足を滑らせますが、踏み切る足のほうは滑りにくくなっていて、左右で異なる素材でできています。

●エリアとハウス

カーリングを行う細長いコートのようなエリアは、長さ役45ｍ、幅5ｍで、これを「シート」といいます。

シートの両側にはストーンで投げ入れるハウス（円）が描かれています。ハウスは、4つの円が描かれていて、外枠から12ft（約3.66ｍ）、8ft（約2.44ｍ）、4ft（約1.22ｍ）、中央の円が1ft（約30cm）のサイズです。中央の円をButton（ボタン）といいます。